



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社ルック 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <http://www.look-inc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高山 英二 TEL 03-3794-9148
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	31,118	1.3	767	—	959	—	721	—
28年12月期第3四半期	30,721	△9.0	△97	—	△51	—	△311	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 845百万円(—%) 28年12月期第3四半期 △1,559百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	18.90	—
28年12月期第3四半期	△8.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	30,590	20,457	65.8
28年12月期	28,935	19,805	67.2

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 20,122百万円 28年12月期 19,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,700	2.5	1,400	69.3	1,600	65.9	1,200	367.0	31.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	38,237,067株	28年12月期	38,237,067株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	68,515株	28年12月期	65,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	38,170,841株	28年12月期3Q	38,172,890株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米の経済動向に伴う影響やアジアにおける地政学リスクの高まりなどがあるものの、好調な企業収益を背景に所得・雇用環境の改善などが進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、百貨店において訪日外国人による免税需要が好調に推移したものの、衣料品に関する消費者の節約志向は依然として強く、総じて厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画(2016年～2018年)に基づく諸施策を実行し、市場環境の変化に柔軟に適応できる安定的な収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は311億1千8百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は7億6千7百万円(前年同期は9千7百万円の営業損失)、経常利益は9億5千9百万円(前年同期は5千1百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千1百万円(前年同期は3億1千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、当社が展開するオリジナルブランド「キース」やインポート主力ブランドである「イルビゾンテ」「マリメッコ」の売上が引き続き順調に推移したほか、フランスのバレエシューズブランド「レベット」や株式会社デンハム・ジャパンが展開する「デンハム」において、新規出店を押し進めるなど、売上拡大策に取り組んでまいりました。また、8～9月においては晩夏商材や一部冬物商材の販売が順調に推移した結果、正価販売比率が向上し、売上利益率が前年同期に対して改善いたしました。更には、昨年からの事業の選択と集中の効果により減収ながらも大幅な増益となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は201億円(前年同期比0.8%減)、営業利益は4億2千6百万円(前年同期は4億6千9百万円の営業損失)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディールックにおいて、フランスのインポートブランド「サンドロ」や「ベルニス」の売上が好調に推移いたしました。更には、昨年9月より販売を開始した「A.P.C.」の売上が加わったことにより売上高が増加いたしました。一方、新規出店に伴う販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は前年同期を下回りました。株式会社アイディージョイにおいて、展開店舗の見直しを引き続き行なった結果、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は103億3千2百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は1億9千7百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

「その他海外」(香港・中国)につきましては、ルック(H.K.)Ltd.(香港)において、店舗の売上が好調に推移したことにより、増収増益となりました。洛格(上海)商貿有限公司においては、平成28年7月より事業内容をEコマース事業に集約した結果、売上高は減少いたしました。営業利益は増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億4千8百万円(前年同期比15.4%減)、営業利益は1千6百万円(前年同期は3千8百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は305億8千1百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は6億4千万円(前年同期は2億6千万円の営業損失)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、当社アパレル製品の生産高が減少したことにより、売上高は前年同期を下回り、当第3四半期連結累計期間の売上高は24億7百万円(前年同期比12.7%減)、営業利益は1千6百万円(前年同期比78.0%減)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、当社グループの取扱高が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8億6千3百万円(前年同期比7.9%減)となりましたが、昨年8月の物流拠点統合など経営の効率化により、営業利益は6千3百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億1千万円(前年同期比3.8%減)となりました。一方、販売費の低減に努めた結果、営業損失は1千4百万円(前年同期は2千4百万円の営業損失)に縮小いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、商品及び製品が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ16億5千5百万円増加し、305億9千万円となりました。

負債は、低金利の借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億3百万円増加し、101億3千3百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したほか、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6億5千1百万円増加し、204億5千7百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、65.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の業績予想につきましては、平成29年8月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,703	6,090
受取手形及び売掛金	5,272	4,103
商品及び製品	7,809	8,832
仕掛品	403	479
原材料及び貯蔵品	335	379
繰延税金資産	937	1,006
その他	680	680
貸倒引当金	△53	△45
流動資産合計	20,088	21,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,068	1,244
土地	1,626	1,632
その他(純額)	964	1,031
有形固定資産合計	3,659	3,908
無形固定資産	621	495
投資その他の資産		
投資有価証券	2,773	2,836
敷金	1,641	1,671
その他	285	288
貸倒引当金	△134	△136
投資その他の資産合計	4,566	4,660
固定資産合計	8,847	9,065
資産合計	28,935	30,590

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,314	3,489
短期借入金	597	898
1年内返済予定の長期借入金	200	—
未払金	138	144
未払費用	1,550	1,446
未払法人税等	235	250
未払消費税等	136	113
返品調整引当金	47	39
賞与引当金	128	267
ポイント引当金	3	10
関係会社事業損失引当金	1	5
資産除去債務	60	55
その他	359	232
流動負債合計	6,774	6,955
固定負債		
長期借入金	1,000	1,900
繰延税金負債	234	247
退職給付に係る負債	503	387
役員退職慰労引当金	11	54
資産除去債務	203	213
その他	402	375
固定負債合計	2,355	3,178
負債合計	9,130	10,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,340	6,340
資本剰余金	1,631	1,631
利益剰余金	10,413	10,944
自己株式	△17	△18
株主資本合計	18,368	18,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,200	1,245
為替換算調整勘定	△117	△21
その他の包括利益累計額合計	1,082	1,224
非支配株主持分	354	334
純資産合計	19,805	20,457
負債純資産合計	28,935	30,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	30,721	31,118
売上原価	15,826	15,250
売上総利益	14,895	15,868
販売費及び一般管理費	14,992	15,100
営業利益又は営業損失(△)	△97	767
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	26	32
退職給付引当金戻入額	—	114
ブランド運営協力金収入	65	—
為替差益	—	2
その他	118	100
営業外収益合計	216	260
営業外費用		
支払利息	17	16
為替差損	89	—
固定資産除却損	45	25
その他	18	27
営業外費用合計	170	69
経常利益又は経常損失(△)	△51	959
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
減損損失	185	6
関係会社事業損失引当金繰入額	—	4
ブランド撤退損失	7	—
その他	1	—
特別損失合計	194	11
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243	948
法人税等	77	236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△321	711
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△311	721

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△321	711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415	46
為替換算調整勘定	△823	88
その他の包括利益合計	△1,238	134
四半期包括利益	△1,559	845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,502	863
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	20,242	9,678	175	30,096	405	104	114	30,721	—	30,721
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28	△73	—	△44	2,351	832	—	3,139	△3,139	—
計	20,271	9,605	175	30,052	2,756	937	114	33,861	△3,139	30,721
セグメント利益 又は損失(△)	△469	248	△38	△260	76	53	△24	△153	56	△97

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル関連事業」において、当社大阪支店を移転する取締役会決議をしたことに伴う当該支店の固定資産及び賃貸借契約に基づく原状回復費用の見積額、並びに撤退を決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「日本」が184百万円、「韓国」が1百万円であります。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
20,867	9,678	94	80	30,721

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	20,069	10,315	148	30,532	385	90	110	31,118	—	31,118
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31	17	—	48	2,022	773	—	2,843	△2,843	—
計	20,100	10,332	148	30,581	2,407	863	110	33,962	△2,843	31,118
セグメント利益 又は損失(△)	426	197	16	640	16	63	△14	707	60	767

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
20,655	10,315	108	39	31,118